

令和3年度第6回県立高校将来構想検討協議会における協議の概要について

1 開催日時、会場

令和4年1月24日（月）午後3時～午後5時 県庁4階 共用第2会議室

2 協議の概要

- (1) パブリック・コメントの概要について
- (2) 次期県立高校将来構想（案の検討資料）について
- (3) まとめ

今回の意見も踏まえながら、次期将来構想の案を事務局がまとめることで全委員が了解

3 委員からの意見

(1) 「第2章 高校教育を巡る現状と課題について」

- 企業も大きな転換期を迎えている中、教育現場には、グローバルな人材はもとより、社会の変化に対応できる人材の育成を求める。県内企業に対して行った調査結果のとおり、高校生には、思考力・判断力、熱意、表現力、コミュニケーション能力などを身に付けてほしい。

(2) 「第3章 今後の県立高校の在り方について」

- 「学校づくりの方向性」における三つの方向性が、具体的に示されていて素晴らしいと思った。
- 遠距離通学をする生徒について、具体的な支援の検討をお願いする。
- 修学支援の充実について記載されているが、さらに、寮の設置を検討してはどうか。
- 「現行構想の成果と課題」について、パブリック・コメントにおける意見を踏まえて課題を加筆したことは評価できる。
- 「生徒指導、相談・支援の充実」の項目をはじめ、教育活動の充実についてしっかりと記載されていることは大変ありがたい。
- 生徒一人ひとりを大切にする学びの大切さについての記載がもう少しあれば、丁寧にやっていくということが打ち出されて良いのではないかと思った。
- LGBT等の生徒への対応について、学校の制服の問題も含めて、今後の学校の在り方を考えていく上で検討するとよいのではないかと思う。
- 「安心・安全な学校づくり」の項目に「交通安全」の記載があるが、子どもたちの安心・安全を守るための防犯グッズの提供などをお願いしたい。

(3) 「第4章 特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備について」

- 各学科の方向性について、大変よく整理されている。この方向性を踏まえて具現化していくことが学校の役割ではないかと思う。
- 「進学指導に重点を置いた中高一貫教育校の配置の検討」について、実現することができたら、今回の将来構想の目玉になると思う。是非、実現してほしい。
- パブリック・コメントにおける意見を踏まえ、キャリア教育の推進や地域課題解決型学習の充実の部分に、地元企業との連携・協働を加筆したことは、非常に良いと思う。
- 地元企業との交流の中で高校生の社会的な成長を促していくという方針が盛り込まれていることは非常に良いと思う。
- 専門高校において、企業・大学等と連携することは、より幅の広い教育が実践できるため、非常に大事なことである。

- 各学科の方向性に記載されていることを身に付けさせるために、各学校でどのようなことを実践していくかという具体的な教育活動をこれから示していく必要性を感じている。
- 特色ある学校づくりを推進する中で、学校の特色や情報を中学生等が知ることができるようにしてほしい。
- 小・中学校や大学、地元企業等との連携によって、お互いが必要とするものと不足しているものを補い合えば、生徒のキャリアデザインにとって、よりよい取組が可能になってくると感じた。
- 小・中学校や大学、地元企業等との連携によって、地域課題について探究的に取り組んでいく特色づくりも進めてほしい。
- 定時制・通信制課程においては、スクールカウンセラーだけでは対応が難しい事案が増えているため、スクールソーシャルワーカーの支援の充実は必要になってくる。
- 今後、日本語を母語としない生徒を受け入れることや、受け入れた後の支援体制の充実についての対応が必要になってくるかもしれない。
- コミュニティ・スクールの取組により、高校が地域のシンボルとなり、それが特色ある学校づくりのひとつになってくると思う。

(4) 「第5章 将来構想の推進について」

- スクール・ポリシーやスクール・ミッションを中学生にどう分かりやすく示していくかということは大切だと思った。
- 県立高校とはいえ、学校は各市町に存在しているため、将来構想の推進に当たっては、今まで以上に各市町と連携をしてほしい。

(5) 全体を通して

- これまでの協議会での委員の意見を踏まえ、よくまとめている。
- 随所に学校間連携や企業・関係機関との連携・協働が記載されており、山口県らしい将来構想になっていると思う。
- これまでの協議会において、保護者の立場として、子どもたちが未来に向けてどういった高校であってほしいかという視点で意見を言ったが、様々な部分で意見を反映してもらい感謝する。
- シンクタンクを活用したことで、全国のデータが示されるなど、山口県だけの視点でなく客観的に検討することができる協議会になり、非常に良かった。
- より良い高校教育を作るという基本姿勢が、将来構想の背景としてあると思うが、時代に応じて課題が出てくると思うので、記載されていないことでも、その都度適切な対応をお願いしたい。
- 将来構想の実現の段階に向けて、これから具体を考えていく際には、各自治体はしっかりと協力していきたいと思っている。
- 山口県は中学校卒業段階での進路未定者が多いことが課題であったが、この10年間で現行構想のもと、生徒のニーズの多様化に応じて、特色ある学校づくりの推進やキャリア教育の充実等、高校教育を推進してこられ、進路未定者の数が減ってきた。引き続き、次期構想でも推進してほしい。